会　議　録

会議名	令和８年度　第２回　安曇野市立三郷中学校　学校運営協議会
日時・場所	令和８年 10 月 19 日（月）14：35～16：30　　三郷中学校会議室
出席委員氏名	
欠席委員氏名	
議　題	意　見　・　結　果
・会長挨拶	
・学校長あいさつ	
・業務改善計画について	・業務改善計画について説明 ・業務改善において、一人一人の声を聞いていきたい。また、改善の内容が学校目標に向かって取り組んでいけるようにしたい。職員のベクトルを揃えていきたい。 ・安曇野市で取り組もうとしていることは、共感する。安曇野市としても実現できるようにお願いしたい。 ・職員によるが、頑張っている人が突然倒れたり病んでしまったりする場合があるため、業務をバランスよく取り組んでほしい。 ・学校でもやりがいをもって働ける方向について話し合った。また、校長としてもビジョンを示していきたいし職員との対話を大切にしたい。 ・新しいことを始めたとき、何を取り入れて何をやめるのかを考えていきたい。時間はかかるが、校長先生の話の中にあった、学校の教育目標からずれないようにというのは大切にしてほしい。 ・安曇野市に配属されている教頭業務支援を行う人材確保や留守電は有効と聞いている。この取組を広げていけるようにしてほしい。 ・学校職員と市教委が同一歩調で進めることは大切。
・授業参観、生徒の様子から	・三郷地域運動会に中学生のボランティア７名が出席した。地域のみなさんに紹介すると、拍手が湧いた。地域に貢献している姿や参加した生徒の感想を伝えていきたいし、学校でも伝えていただきたい。 ・地域貢献では、本校で取り組んでいる地域学習が、ベイシア財団の地域貢献分野で認めていただき表彰された。学校便りで紹介したい。 ・地域に子どもが関わるということは、良いこと。学習したことが地域につながっていくことは大切にしたい。 ・どういう教育したいのか、どういう学校にしたいのか、どういう生徒にしたいのかを共有することを大切にしたい。 ・学校便りをはじめ、生徒の感想が掲載されていると、学校の様子がわかりとてもありがたい。 ・保護者の立場として、授業の様子や学校の中の様子が見えるようなお便りであるとうれしい。 ・地域学習については、三郷中で取り組んでいる学び合いと並んでメインとなる。地域学習について職員が納得して取り組めるようにお願いしたい。先生方の受け止めの違いにより、子どもの受け止めも決まってくる。子どもが本当に目を輝かせて地域に行けるようにするのは先生の力が必要だと思う。 ・夏休みに、三郷のことを知っているようで知らない職員もいるため研修会を義民館とファインビュー室山で実施した。職員にとってもこういう機会は必要だと思う。継続していきたい。 ・学び合いについては、学びは一人ではできないということを職員と共有していきたいと考えている。職員と実際の子どもの姿で語れるようにしたい。 ・生徒の背景を考え、授業に取り組んでいきたい。小学校からの情報を含め、

	一人ひとりの子どものカルテを整備していきたい。 ・保護者として、学び合いの意味を生徒が理解する必要がある。４人は人間関係が生まれると考える。生徒の気持ちをキャッチしてほしい。
・熟議 学校教育目標「豊かに生きる人となる」にむけて （１）前期学校評価アンケートの結果や生徒の様子から成果と課題を中心に （２）三郷セルフ、地域学習の成果と課題について （３）部活動の地域展開の現状や今後のあり方について	・部活動の地域展開については、11 月 12 日に中学校の入学説明会で、小学校保護者に説明する予定。内容は、現在の小学校 6 年生は、中学校２年生で部活動が終了する。現在、その説明ができるように整えている。認定地域クラブ、民間の競技クラブの違いについて説明する必要がある。文化部については、吹奏楽部や合唱部は地域クラブの形になるだろうが、科学部や美術部は公民館での活動に関われないかとも考えている。部活動で担ってきた文化とスポーツをどういう形で継承するために、地域の力を必要としたい。 ・運動部については、クラブになったときに部活動と同様に体育館を使えるようにしていただけると嬉しい。 ・文化部の地域展開は、運動部と比べると進んでいない。生涯学習課で考えていくことは決まったが、公民館としても協力するつもり。公民館活動の中でどのように生徒が関われるのか考える必要がある。 ・生涯学習の場をつくり、大人にとっても子どもにとってもプラスになる関係をつくりたい。 ・大人になったときに、子どもに自分は何をやってきたのか語れるように取り組みたい。 ・本日の資料をから、地域の方と生徒が一緒に活動している様子が掲載され、地域の方だけでなく子どももうれしい気持ちになっていると感じた。このまま地域と関わりをこのまま続けていきたい。 ・学校自己評価を用意して委員と共有するのは良いことだと思う。学校運営協議会の委員のどう課題を共有するかわかってよかった。 ・中体連はどうなるのか。学校対抗が一つの魅力だった。高校では部活に所属しながらユースに所属している生徒もいる。部活動の地域展開で工夫はできないのか。 ・中学校では、挨拶・清掃・合唱が大切にしている。この中でも、挨拶のポイントが下がっているのは何とかしたい。 ・学校が楽しいと感じているという項目で、10 人に１人が楽しくないと答えているところは考えていきたい。地域学校協働本部の話の中で、くりかえし挨拶をするように呼びかけていきたい。
会長挨拶	

令和8年11月5日（木） 作成